

# 相続贈与専門の拠点を開設。専任税理士が相談に



## 中野 研

なかの・けん / 1979年苫小牧市生まれ。小樽商科大学商学部卒業。大原簿記専門学校講師や茨城県内の税理士事務所勤務を経て2013年税理士登録。15年あすか税理士法人入所。17年役員就任。19年「大通 Regalo」所長就任。



## 武田 直

たけだ・なお / 1987年札幌市生まれ。札幌学院大学経済学部卒業。2013年あすか税理士法人入所。17年税理士登録。19年「大通 Regalo」所属。高い専門性と豊富な知識を生かし入所以来、相続案件を数多く取り扱う。



## 相澤 和利

あいざわ・かずとし / 1961年恵庭市生まれ。北海道大学工学部卒業。道内の企業で社長を務める。経営者の経験を生かし2011年あすか税理士法人入所。19年行政書士登録。同年あすか行政書士法人代表社員就任。

# あすか税理士法人

札幌市中央区大通西14丁目1-14 NEO BLD. 2階  
☎ 0120・166・690  
http://www.asuka-zeirishi.com/

相続税への節税意識が高まるなか、誤った知識や自己流の対策によって相続時に問題が発生する事例が後を絶たない。特に相続税対策でおこなわれる生前贈与でのトラブルが顕著だ。単に資産を子や孫の名義の口座に分割しておくだけでは非課税とならないため、死後に問題となるケースが多発している。また、現預金以外も相続税の対象となるため、資産が不動産しかない場合でも注意が必要。地価の高騰で高額な相続税が発生したケースがある。

さらに見落としがちなのが生命保険。複数の保険に加入し、非課税枠を超えていれば相続税の対象となる。また、受取人を法定相続人以外に指定している場合には、新たな相続税も発生する。これら目に見えない財産を精査し、早い時期から「どのくらいの税金が発生するか」「軽減するためにはどうすればいいのか」など、専門家を交えた資産評価や節税対策が急務だ。

「あすか税理士法人」は、道内最多13人の税理士を擁する大規模会計事務所。全道の富裕層に向けて積極的な節税対策の提案と、高度なスキームを提供している。同法人は道内では珍しく、相続税を専門に担う税理士が在籍。札幌市近郊はもとより北見市や函館市、根室市など遠方からの依頼も相次ぐ。

また、サラリーマンや主婦など幅広い世代からの相談にも対応できるよう窓口業務を拡大。10月25日には「大通 Regalo」相続贈与相談オフィス（札幌市中央区大通西9丁目キタコー大通公園ビル8階）を開設した。税理士3人を含む総勢8人のスタッフが専門で業務にあたり、資産の評価から節税対策の提案、納税準備資金の確保まで、顧客に合わせた相続プランを提供している。「『大通 Regalo』は、どなたでも気軽に立ち寄れる、街の相談所」を目指しています。税金でお悩みの際はご相談ください」と中野研税理士。さらに系列の「あすか行政書士法人」とも連携。代表の相澤和利行政書士は家族信託コードイネーターや家族信託専門士など複数の資格を有しており、生前から死後まで切れ目のないサポートをおこなっている。今後は、少人数制のランチセミナーや無料相談会も開催していく予定だ。